


<http://www.namiki-masatoshi.com/>

討議資料

なみき

並木まさとし

46歳

33号



発行者 埼玉県議会議員 並木正年 〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町3-2-19-B
 TEL 048-541-7777 FAX 048-543-8000 MAIL namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp

皆さまこんにちは。紅葉も色づき始め、各地で秋のイベントが盛大に開催されています。

県議会9月定例会は9月23日から10月14日まで開催されましたが、議会中は花火大会のお手伝いや運動会・さらさら獅子舞20年目を迎えた消防団の夜間訓練など、忙しくも充実した毎日を送らせていただきました。

今議会では私が所属する会派(無所属県民会議9名)から岡県議(白岡市・宮代町)が東日本大震災で福島県から本県に避難されている方々の住宅支援について一般質問をおこない、県営住宅条例の一部改正がなされたことで被災者の方々の安定した生活を取り戻す一歩になったと感じます。

また、10月24日からは委員の一員として決算特別委員会が始まりましたので、11月下旬までしっかり取り組みたいと思います。

9月定例会 主な内容

○東松山・鴻巣線(加須県道)中山道本町交差点～国道17号までの自転車レーン整備

* 加須県道は大型車の交通量が多いため、十分な自転車レーンが確保できるように一部拡幅(歩道部分の調整)など要望しています。

○御成橋(県道東松山・鴻巣線)の補修工事

* 4車線化の実現に向けた要望活動を期成同盟会でおこなっています。

○「ハッ場ダムの建設に関する基本計画の変更に係る意見」

ハッ場ダムの事業費がこれまでの約4,600億円から720億円増加し約5,320億円に変更されることについて、埼玉県議会が同意するかが問われました。県から国へ「徹底したコスト削減に取り組み、総事業費の圧縮に努めること」「早期完成に向け、工期短縮に努めること」と意見をつけました。今回の増額を精査したところ工事関連資材の高騰や地滑り対策、消費税の増税によってやむを得ないものと判断しました。事業費は埼玉県、東京都、千葉県、茨城県、群馬県、栃木県などと負担し、埼玉県の負担割合は29,82%です。

原口鴻巣市長・新井吉見町長
森田東松山市長と要望書を提出



保健医療部 ○法改正により平成30年度から、国保制度は都道府県と市町村が共同して運営します。また、県は財政運営の責任主体となるため、「埼玉県国民健康保険運営協議会」を新たに設置します。埼玉県国民健康保険の運営方針については15名で構成し今年中に初会議を開催する予定です。

○「埼玉県地域保健医療計画の変更について」

法律に基づき平成37年の埼玉県の医療提供体制に関する構想です。県内を10の医療区域に設定し、高度急性期・急性期・回復期慢性期の需要推計を踏まえた必要病床数などを推計しています。

農林部 ○「次世代技術実証・普及センター(仮称)整備事業」(補正予算第2号として1億4,433万6千円(平成28年度は6,238万円 平成29年度は6,118万7千円)

「埼玉県農業技術研修センター久喜試験場」(久喜市北中曽根)にトマトの土耕栽培用の実証研究施設「次世代技術実証・普及センター(仮称)」を整備します。ここで得たトマト土耕栽培の技術普及や栽培助言、指導などを今後行う予定です。



「県立小児医療センター」・「さいたま赤十字病院」 来年1月から外来診療が始まります!

10月15日に完成記念式典と内覧会が開催されました



県立小児医療センター(左)



ハイブリッド手術室



新生児集中治療室



知事を中心に記念撮影



9階～12階の病棟

病院局 ○「埼玉県病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」

埼玉県立循環器・呼吸器病センター(熊谷市)に来年春頃までに「緩和ケア内科」「腎臓内科」「心臓外科」「血管外科」を設けます。さいたま新都心に移転する「埼玉県立小児医療センター新病院」は「救急科」と「臨床検査科」を加えて20診療科になりました。

警察本部 ○「工事請負契約の締結について」

老朽化が著しく耐震性が不十分な岩槻警察署庁舎を現在地に平成30年7月までに13億4,676万円(税込)で建て替える工事契約を一般競争入札で深谷市の古郡建設株式会社と契約しました。建物は、鉄筋コンクリート4階建て、延床面積1,709㎡。

都市整備部 ○「さいたま水族館の復旧工事など」(補正予算第2号として2億7,500万円)

平成28年6月に発生した火災により被害を受けた水族館の展示室や飼育室などの施設・設備の復旧などをします。現在は一部会館していますが、復旧工事により来年4月頃から全館利用できるようになります。

・ 県立小児医療センター 1月5日から外来診療開始

階数	地下1階/地上13階
病床数	316床
駐車場	335台

・ さいたま赤十字病院 1月4日から外来診療開始

階数	地下2階/地上14階
病床数	632床
駐車場	311台



JR 高崎線・京浜東北線「さいたま新都心駅」から徒歩5分 埼京線「北与野」駅から徒歩6分

- * 新生児集中治療室 (NICU) の増床 (15床 → 30床)
- * 新生児治療回復室 (GCU) の増床 (27床 → 48床)
- * 小児集中治療室 (PICU) の新設 (14床)
- * 個室の病床の増床 (37床 → 80床)

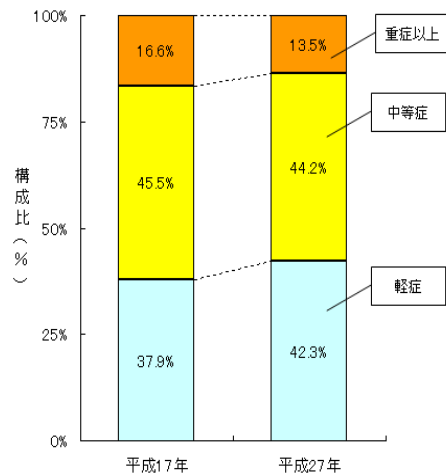
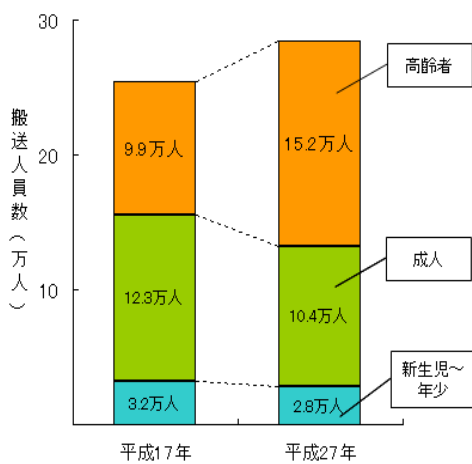
小児医療センターとさいたま赤十字病院は廊下を通じて繋がっているため、専門医の相互連携が可能になりました。ハイブリッド手術室の新設等、最新医療へ対応できる体制となっています。

埼玉県の救急医療の現状

この10年間の救急搬送は成人や小児と比較した場合、高齢者(65歳以上)で1.5倍に増加し、軽症患者の割合が増えています。

《年齢区分別の搬送人員》

《高齢者の搬送内訳》



大人の救急電話相談をご利用ください!

大人の休日や夜間における急な病気やケガに関して、看護師の相談員が助言をしてくれます。

- ①電話番号 #7000(048-824-4199)
- ②相談時間 月曜日~土曜日 18:30~22:30
日曜、祝日、年末年始 9:00~22:30
- ③看護師 3~5名体制(困難事例の場合は医師が助言)
- ④実績 23,028件(平成27年度) 1日あたり約63件
- ⑤効果 相談件数の約7割が当日受診不要



花火大会の翌日は市内の中学生や多くのボランティアによって会場や打ち上げ場所の清掃が行われています。自然環境の維持・保全を推進し、コウノトリが棲める豊かな環境づくりを目指したいですね。



糠田グラウンド堤防にて国交省から築堤(堤防工事)の説明をしていただきました。計画はありますが、現時点で即着工とはならないようです。来年も盛大な花火大会を期待したいと思います。

Profile 並木正年(なみきまさとし)昭和45年(1970)鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部) 亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長 第8回このす花火大会代表/鴻巣市消防団第2分団員(20年目)/鴻巣東小PTA 副会長/鴻巣市議会議員2期/平成27年4月埼玉県議会議員初当選/警察危機管理防災委員/危機管理・大規模災害対策特別委員/決算特別委員/家族/妻・長女(大学生)・長男(中学生)・愛犬レオ